

講演会・ワークショップ

ケアの倫理：「かんたき」の可能性

■日時：2019年3月16日（土）13:00～17:00

■会場：大阪大学中之島センター 講義室 702（定員 60名）
大阪市北区中之島 4-3-53 <http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>



① 講演（13:00-15:00）

「よりよく生き、よりよく逝くために、今から考えておくこと」

講演者：藤原 志寿子 さん（看護小規模多機能型居宅介護「かんたき住之江」 管理者）

藤原志寿子さんのプロフィール：

一般企業で10数年勤務した後に看護師へ転職。総合病院での勤務を経て、がん専門病院の開設準備室で立ち上げに関わる。開院後より病棟・外来・地域連携室・看護管理室の看護師長および緩和ケアチームのコアメンバーとして勤務。在宅看護の必要性を感じ病院を退職。2018年1月から現職。

② ワークショップ（15:15-17:00）

テーマは、講演の後に参加者の皆さんと決めます

司会：堀江 剛（大阪大学教授・臨床哲学）／ 進行：林 道也（〈ケア〉を考える会）

■趣旨：高齢社会・老々介護・在院日数短縮がますます進む中で、国は在宅療養主流へ変換を図っています。また医療の進歩により延命が図られるようになった反面、延命がもたらす苦悩も生じてきています。自分の命と人生について、余裕のある間から考え意思表示しておくことが大切です。自分自身の尊厳を守り、そして家族も困らないようにするための方策を、考えていきたいと思えます。

「かんたき」とは……

看護小規模多機能型居宅介護の略称で「通い」「泊まり」「訪問看護・リハビリ」「訪問介護」「ケアプラン」のサービスを一体化して、一人ひとりに合わせた柔軟な支援ができる看護師を中心としたトータルケアの事業所です。

<http://www.nursing-hc.co.jp/service/kantaki.html>

■参加費：無料

■お問い合わせ・参加申し込み……参加予約が必要ですががき又はメールでお申し込みください

（氏名、TEL・FAX・メールアドレスを明記）

定員になり次第締め切ります。

満席となりお断りする場合にはのみ、連絡いたします。

〒560-8532 豊中市待兼山町1-5

大阪大学文学研究科 堀江研究室気付

「ケアの臨床哲学」研究会 宛

E-mail : thorie.999@gmail.com

共催：・患者のウェル・リビングを考える会（神戸） http://www.geocities.jp/well_living_cafe/

・〈ケア〉を考える会（京都／岡山） <http://care-kyoto.jimdo.com/>

・からほりさろん（大阪） <http://odekake-karahori.com/salon/>

・合同会社医療介護連携研究所・ぼちぼちいこ会（大阪）

<http://iryorenkeikenkyujo.hp.gogo.jp/sp/free7.htm>

